事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：　2023 年　2 月　15 日　　事業所名：こどもサポート教室「きらり」阪急桂駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースの確保ができている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切な人数を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		フルフラットな床面でバリアフリー対応できている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		ＰＤＣＡサイクルの本格導入に至っていないが日々協議を重ね業務の改善に努めていく。 日常的な相談、会議により業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			必要に応じ各種アンケートを行い、保護者のニーズ確認と業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価結果は事業所内に掲示するほか当社ＨＰで公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在は利用者、事業所の二者評価となっている。今後必要に応じ第 3 者による外部評価については引き続き検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			初任者研修や全職員対象の定例研修を実施しており、行政等外部の研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的にアセスメントを行い、保護者からのヒアリングに基づきサービス計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内統一の様式にもとづき、目標ごとの達成度と課題を踏まえて評価している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			基本的には担当指導員が立案しているが共有作業などは行っている。全社的なノウハウの蓄積システム「支援の工夫集」も整備している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			一人一人のニーズにあわせオーダーメードの療育を行っている。毎回のフィードバックで保護者の声も十分に伺っている。 長期的な取り組みで固定化しないように、指導員同士で共有などしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は回数の増加や時間の変更など、柔軟な対応を行っている。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者とも協議し、集団活動にお悩みの利用者には、特に小集団療育を取り入れた計画を作成している。 不定期ではあるが、小集団療育も行っており考慮している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		基本的には個別支援ではあるが、必要時は役割分担などは確認している。 朝礼や定期的なミーティングなど情報共有を心掛けている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		緊急課題を除き、必要時に適宜情報を共有している。 朝礼や定期的なミーティングなど情報共有を心掛けている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			社内の統一書式で毎回必ず記録をとり、支援に生かしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画期間（6か月）ごとにﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞを実施し、それに基づきサービス計画を見直しており、チェック表などを使用して漏れのないよう心掛けている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			計画期間（6か月）ごとにﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞを実施、それに基づきサービス計画を見直している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		開催時は担当指導員や児童発達支援管理責任者が参加している。
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		送迎がないため日常的なスケジュール調整は行っていないが、必要に応じ保護者の了解を得て支援に関する情報など、共有を図っている。
関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在のところ対象者無し。
関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者の要望と園側の了承があれば連携を取っており、事業所内相談支援時に要望を確認するようにしている。
関係機関や保護者との連携	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			該当するケースがあれば保護者の了解を頂いた上で情報提供を行う。
関係機関や保護者との連携	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		情報の共有などに努めている。
関係機関や保護者との連携	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		現在は交流できていないが、多様な意見があることから保護者の希望を十分に伺い交流の在り方を検討していく。
関係機関や保護者との連携	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			行政区や学区の協議会に定期的に参加している。

	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			フィードバックの際に保護者のお声をしっかり伺い、課題等に関する情報を共有し、支援に生かしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			不定期ではあるが小集団療育に合わせて行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明するほか、事業所に運営規程等を掲示して、利用者負担等は毎月の請求時に説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内相談支援としてや、フィードバック時など、定期的・継続的に保護者の子育ての悩み等の相談に応じている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		小集団療育時にペアレントトレーニングなどを通じて保護者相互の情報共有や連携促進に努めていく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			管理者が苦情相談窓口になり、苦情や相談があれば迅速、適切に対応している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報等は発行していないが、ブログを定期更新するほか、必要に応じ保護者へのお知らせを配布している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			パスワードの設定、鍵付き書庫、シュレッダーの利用、職員研修等により個人情報の保護に努めている。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に応じたアプローチを工夫している。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個別療育であり個人情報保護の制約もあるが、自治会にも加入しており地域交流の手法等を検討していく。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、それに基づく対応に努めている。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に各災害に合わせ、毎月避難訓練等を実施している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、定期的に内部研修を実施、行政等の外部の研修にも参加している。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			マニュアルを策定し研修を実施しています。やむを得ず身体拘束の必要が生じうるお子さまについては保護者のご理解を得たうえ個別支援計画に明記している。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事やおやつの提供はしていないが、対策は講じている。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例発生の場合は上司への報告、職場での情報共有を行い、再発の防止に努めている。

保護者等向け　放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：　2023 年　2 月　　15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 阪急桂駅前校　　保護者等数（児童数）：36 回収数：31 割合：86 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	5		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	5		職員を増やす方が良い （適切な人員を配置していく）
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	4		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	26	2		
	⑤	活動プログラム[ii]が固定化しないよう工夫されているか	25	3		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	14	11	親としてそれは求めていません （要望があれば必要に応じて開催していく）
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	16	11	それは不要とおもっています （要望があれば必要に応じて開催していく）
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	7	1	苦情はありません （申し立てがあれば迅速かつ丁寧に対応していく）
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	7		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	3		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	8		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	12		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	26	2		とても楽しんでいる 本人の希望で利用日を増やした （今後も、より一層安心して過ごせる場所として、楽しみに通って頂けるよう努めていく）
	⑱	事業所の支援に満足しているか	28			今後の進路の相談や学校情報について知りたい （定期的に事業所内相談支援などを行い、ご要望に応えていく）

[i] 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

[ii] 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。